

1 受賞団体の名称

ざいだんほうじん しるくのさとしんこうこうしゃ
財団法人シルクの里振興公社 (山梨県中央市)
 (問い合わせ先) 055-269-2411



(経歴)

平成13年度、(財)シルクの里振興公社設立
 公社設立までに行政主体で進められてきた豊富地区の振興方策を受け継ぎ、それまでに整備されていた下水処理施設及び道の駅とよみ農産物直売所、ここを利用する生産組織等を効果的に連携させる仕組みづくりを行い、環境に配慮した資源循環型農業の確立に至った。

(公社の主要事業)

環境保全型農業推進、農家生産組織育成、農地保全管理、新規就農者等育成、都市農村交流、公共施設管理運営

2 環境保全型農業の推進と定着

①地域資源の循環利用システムの構築

- ・豊富(とよみ)地区は農村にして下水道100%完備
- ・地区内すべての家庭・施設で下水道の利用が可能
- ・下水汚泥と地域内の家庭・施設から出る生ゴミは全てコンポスト化
- ・汚泥と生ゴミを再資源化し、肥料として全量を農地還元
- ・その土壌から収穫した農産物を道の駅農産物直売所へ出荷・販売



②環境に配慮した農業技術の普及

- ・農業生産の基本として耕種的・物理的・生物的防除の推進
- ・IPM(総合的病害虫管理)の推進による環境負荷の低減
- ・農薬適正使用の推進と飛散防止対策の指導
- ・防除日誌の記帳と保管の義務づけ、チェック体制の整備



③水資源・景観等の維持保全

- ・農業集落排水施設と農業生産の連携による継続した資源利用
- ・小川や河川の水質保全と農業用水としての安全性確保
- ・ホテル等の生態系保全の面にも効果
- ・耕作放棄対策と環境負荷の軽減対策として景観形成作物等の植樹

3 安全・安心の確保と地産地消の推進

- ①安全・安心を強調した付加価値の高い販売
- ・エコファーマーによる化学合成農薬及び化学肥料を低減した農産物生産
 - ・消費者への取組周知とエコファーマー専用コーナーでの陳列、販売
 - ・安全・安心を強調した付加価値の高い販売



②地場農産物の利用拡大

- ・6次産業化への取組も視野に入れた加工品開発
- ・地元産原料を使用した多様な加工品の商品化
- ・学校給食等への農産物の利用促進と体験学習を通じた食農教育の実施

4 取組の成果

- ①農家・住民の活気回復と地域活性化
- ・「皆の元気が宝物」をモットーとした農業・農村振興
- ②県内でも先進モデルとなる資源循環型農業
- ・汚泥生ゴミ肥料と耕畜連携による有機質肥料を活用した土づくりのスタイルを確立し、地域内で消費するリサイクル農業を定着
- ③県内トップクラスの農産物直売所へ発展
- ・「新鮮・安全・安心・安価な農産物」が広く定着
 - ・第1回直売所甲子園(全国直売所研究会主催)でグランドチャンピオン



5 地域社会への貢献

- ①交流人口の増加
- ・各種イベントの開催による産地の知名度向上
 - ・都市農村交流の受入れと産地への理解促進
- ②地域資源の保全と農業の活性化
- ・豊富地区から中央市全域への波及
 - ・企業のCSR活動や農業参入の支援による農地の有効活用と生産拡大
- ③資源循環型社会の構築
- ・住民、行政、公社が一体となり進められた優良事例として周辺自治体等に与える影響は大きく、資源循環型社会のモデル的な取組として高く評価

